

日産婦医会発第 30 号
令和 6 年 5 月 1 日

各都道府県産婦人科医会 会長 殿

公益社団法人日本産婦人科医会
会長 石渡 勇

月例連絡事項に関する件

平素は本会事業に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、5月の定例連絡として、下記事項を添付ファイルにてお送りいたします。
つきましては、お取り計らいの程、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 令和 5 年度第 12 回常務理事会議題
2. 令和 6 年度オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン標語募集について
3. 春の叙勲受章者について
4. プレグランディン腔坐剤の年間報告について
5. おぎゃー献金推進活動について
(付) 令和 5 年度第 12 回常務理事会記録

* 新入会員に下記の頒布物をお渡し下さい。
(在庫がなくなりましたら、本会へ御連絡をお願い致します。)
・新入会員のための無料頒布リスト・申込用紙 (5 月版)
・指定医師必携 (平成 31 年 3 月版)

1. 令和5年度第12回常務理事会議題

(庶務部会)

標記議題につきましては、下記のアドレスをご参照くださいますようお願いいたします。

■ 常務理事会の主なる協議・報告事項 ■

https://www.jaog.or.jp/about/project/document/ejjaog_2023/

2. 令和6年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集について

(庶務部会)

令和6年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」における標語募集に関し、こども家庭庁支援局虐待防止対策課長より周知協力依頼がありましたので、ご協力方よろしくお願いたします。

(別紙：依頼文)

こ支虐第206号
令和6年4月22日

各 児童虐待防止対策関係団体 御中

こども家庭庁支援局虐待防止対策課長
(公 印 省 略)

令和6年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」
標語募集への協力依頼について

児童虐待防止対策の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

児童相談所における虐待相談対応件数は依然として増加傾向にあり、こどもの生命が奪われる重大な事件も後を絶たないなど、深刻な状況が続いています。児童虐待は早急に解決すべき問題であり、広報啓発活動を通じて社会的関心を高めていく必要があります。

そこで、こども家庭庁では、児童虐待問題に対する社会的関心を喚起するため、児童虐待防止法が施行された11月に「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施し、厚生労働省における児童虐待防止推進月間の取組を継承した、集中的な広報啓発活動を実施します。このたび、その取組の一つとして、標語の募集を行うこととしました。

つきましては、別添の令和6年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集実施要綱を御参照頂き、貴団体のホームページ、広報誌や機関紙の掲載等により広く周知して頂くとともに、積極的な標語の応募について、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。



令和6年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」

標語募集実施要綱

1. 趣 旨

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあり、こどもの生命が奪われる重大な事件も後を絶たないなど、深刻な状況が続いています。児童虐待は早急に解決すべき問題であり、こどもの「命」と「権利」、そしてその「未来」は社会全体で守らなければなりません。

こども家庭庁では毎年11月に「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施し、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、期間中に児童虐待防止のための広報・啓発活動など種々な取組を集中的に実施します（平成16年度から令和4年度までは厚生労働省において「児童虐待防止推進月間」として実施）。

この取組の一つとして、児童虐待問題に対する理解を国民一人一人が深め、主体的な関わりを持てるよう、意識啓発を図ることを目的として、標語の募集を行います。

2. 募集内容および応募資格

(1) 募集内容

児童虐待問題に関し、上記の趣旨を簡潔に表現し、国民一人一人の意識啓発を図るのにふさわしい、覚えやすい標語。

(2) 応募資格

特に制限はありません。どなたでも応募できます。

3. 募集期間

令和6年4月22日（月）から6月11日（火）

4. 応募方法

(1) 応募にあたっての注意点

- ・ ご自身で創作した未発表の作品に限ります。
- ・ 作品は一人につき1作品応募可能です。※2作品以上応募の場合は無効です。
- ・ 応募作品は、返却いたしません。

- ・指定の応募方法による応募以外は無効です。

(2) 個人で応募する場合の方法

Web 応募フォームに氏名や作品等の必要事項を入力いただき送信をお願いします。

(3) 学校などの団体で複数人の作品をまとめて応募する場合

Web 応募フォームの Excel 様式を使用し、氏名や作品等の必要事項を入力の上、Web 応募フォームから申し込んでください。

最優秀作品に選ばれた場合は、応募主の代表者(申請者)に連絡させていただきます。

(4) 応募先

こども家庭庁から委託を受けた「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン標語募集事務局」の Web 応募フォームより応募してください。なお、個人情報は本標語選定以外の目的には利用しません。

Web 応募フォームの記載事項をご入力いただき送信をお願いします。

学校応募用 URL <https://form.run/@R6-dantai-hyougo>



個人応募用 URL <https://form.run/@R6-kojin-hyougo>



5. 選 定

1 作品を最優秀作品（こども政策担当大臣賞）として決定します。

6. 発 表

最優秀作品は、本人へ通知するほか、こども家庭庁ホームページなどで発表します。

7. 表 彰

令和6年11月4日(月/祝)に開催予定の「こどもの虐待防止推進全国フォーラム with

とちぎ（仮称）」（栃木県宇都宮市）で、賞状の授与を予定します。

8. 標語の活用

今回の募集により選定した標語（最優秀作品）は、オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンに全国各地で実施される広報・啓発活動などで幅広く活用します。

なお、著作権はこども家庭庁に帰属します。

9. 問合せ先

こども家庭庁 支援局 虐待防止対策課 業務委託先
オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン標語募集事務局
mail : info@kodomo-katei.com

※お問い合わせはmail でのご協力をお願いいたします。

【過去の最優秀作品】

平成 17 年度から令和 4 年度は、厚生労働省において児童虐待防止推進月間標語として募集

平成 17 年度	気づいたら 支えて 知らせて 見守って
平成 18 年度	あなたの「もしや」が子どもを救う。
平成 19 年度	きこえるよ 耳をすませば 心のさけび
平成 20 年度	助けての 小さなサイン 受け止めて
平成 21 年度	守ろうよ 未来を見つめる 小さなひとみ
平成 22 年度	見すごすな 幼い子どもの SOS
平成 23 年度	守るのは 気づいたあなたの その勇気
平成 24 年度	気づくのは あなたと地域の 心の目
平成 25 年度	さしのべた その手がこどもの 命綱
平成 26 年度	ためらわず 知らせてつなぐ 命の輪
平成 27 年度	「もしかして」 あなたが救う 小さな手
平成 28 年度	さしのべて あなたのその手 いちはやく
平成 29 年度	いはやく 知らせる勇気 つなぐ声
平成 30 年度	未来へと 命を繋ぐ 189（いはやく）
令和元年度	189（いはやく） ちいさな命に 待ったなし
令和2年度	189（いはやく） 知らせて守る こどもの未来
令和3年度	189（いはやく）「だれか」じゃなくて「あなた」から
令和4年度	「もしかして？」 ためらわないで！ 189（いはやく）
令和5年度	あなたしか 気づいてないかも そのサイン

3. 春の叙勲受章者について

(医会報編集部会)

貴会において、春の叙勲受章者がいましたらお知らせください。

4. プレグランディン腔坐剤の年間報告について

(法制・倫理部会)

プレグランディン腔坐剤の年間報告用紙を送付いたしますので、6月30日までにこの用紙の写しをご提出願います。

プレグランドイン膣坐剤施用報告書

令和 年 月 日

都道府県 医師会長殿

公益社団法人 日本産婦人科医会

都道府県 産婦人科医会

都道府県 産婦人科医会長 _____ (印)

令和____年度分のプレグランドイン施用報告の集計は下記の通りです。

記

報告機関数	令和 年 4 月 1 日	令和 年度 4 月 1 日より令和 年 3 月 31 日までの 購入及び施用数量、返品数量			令和 年 3 月 31 日
	現在所有数量	総購入数量	総施用数量	総返品数量	現在所有数量
機関	錠	錠	錠	錠	錠
備考					

注) 個々のプレグランドイン報告書は各都道府県産婦人科医会で保管し、この報告書を 6 月 30 日までに日本産婦人科医会に提出して下さい。

5. おぎゃー献金推進活動について

(献金担当連絡室)

おぎゃー献金推進イベント等を開催する予定がございましたら、7月末日までに企画書を添えて、日母おぎゃー献金基金宛に申請願います。

検討の上、推進活動補助金（50万円以内）を交付致します。

第12回常務理事会記録 (Web会議)

日 時 令和6年3月5日(火) 18:00~19:30

場 所 日本産婦人科医会会議室

出席者 石渡会長、中井・平原・前田各副会長、安達・石谷・倉澤・小林・相良・鈴木(俊)・鈴木(光)・関沢・高瀬・谷川原・種部・長谷川・平田・福嶋・宮崎各常務理事(常務理事会構成員19名、定足数10名、出席者19名、本会は成立)

栗林監事、亀井・白須・平川・松岡各顧問

松本議長、光田副議長

戸澤副幹事長、浅川・五十嵐・小古山・小島・齊藤・田中・永石・林・早田・星・水本・宮国・百村各幹事

I. 協議事項

1. 庶務部会関係(庶務)

- (1) 第101回総会(臨時)(3月10日)運営に関する件
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- (2) 第1回理事会(5月18日)次第案に関する件
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
- (3) 令和5年度事業報告・決算報告作成スケジュールに関する件
標記に関し協議。意見等あれば提出する。了承。
- (4) 幹事の職務分担の変更に関する件
標記に関し協議。総会に報告する。了承。
- (5) 公益社団法人日本女医会(前田佳子会長)からの「日本女性医師デー」制定記念イベント(4月7日 東京都)への後援名義使用許可依頼に関する件
標記に関し協議。許可する。了承。
- (6) 一般社団法人日本摂食障害協会(鈴木眞理理事長)からの世界摂食障害アクションディ2024(6月2日 東京都)への後援名義使用許可依頼に関する件
標記に関し協議。許可する。了承。
- (7) 熊本県産婦人科医会(伊藤昌春会長)からの令和6年度同医会定例総会(5月12日 熊本市)への講師派遣依頼に関する件
標記に関し協議。長谷川常務理事を派遣する。了承。

2. 日産婦医会報3月号の編集方針に関する件（医会報編集）
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
3. 記者懇談会のテーマに関する件（情報技術（IT））
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
4. その他
 - (1) 能登半島地震の被害に対する支援に関する件（石渡会長）
標記に関し協議。総会に報告する。了承。
 - (2) 妊婦に接種するRSウイルスワクチンに関する件（先天）（母子）
標記に関し協議。意見等あれば提出する。了承。
 - (3) 婦人科特定疾患管理料 e-learning の医会・学会の役割分担に関する件（保険）
標記に関し協議。学会に一本化する。了承。
 - (4) その他

II. メーリングリスト対応済事項

1. 協議事項

- 1) こども家庭庁成育局参事官からの令和6年度こどもまんなか児童福祉週間（5月5～11日）への協力依頼に関する件（庶務）
標記に関し協議。協力する。了承。
- 2) こども家庭庁令和5年度出生前検査認証制度等啓発事業からのシンポジウム「知って、学ぶ！出生前検査のこと～様々な立場から連携しあい、より良い未来を創るために～（仮）」（3月13日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件（庶務）
標記に関し協議。許可する。了承。
- 3) その他

令和6年3月5日

常務理事会議長 石 渡 勇

議事録署名人 栗 林 靖

新入会員のための無料頒布リスト・申込用紙

新入会された先生で下記の資料を希望される方は、この用紙に必要事項をご記入の上、事務局（FAX:03-3269-4730）までお送りください。 ※お一人様1回に限り無料でご希望の国会発刊物をお送りいたします。なお、在庫状況により送付できない場合もありますのであらかじめご承知おきください。お届けには2～4週間ほどお時間をいただきます。

★ 送付希望の発刊物の□にレ印をお付けください

- 偶発事例・妊産婦死亡 報告事業の概要 (2011.1)
- 妊産褥婦死亡時の初期対応 (2011.3)
- 産婦人科における骨粗鬆症治療の手引き～治療薬剤の特徴と注意～ (2016.3)
- 尿失禁の診療アルゴリズム (2019.3)
- 産婦人科医のための生活習慣病診療マニュアル2020 (2020.6)
- 性犯罪・性暴力被害者診療チェックリスト改訂版 (2020.6)
- 子宮頸がんは予防できます！（ポスター） (2020.12)

研修ニュース

- No. 21 C型肝炎ウイルス（HCV）感染の小児治療薬について (2023.6)
- No. 20 災害対策の整備状況 産科病院・有床診療所のアンケート結果から (2022.11)
- No. 19 一般不妊治療として人工授精を行う場合の精子調整法 (2022.4)
- No. 18 硬膜外麻酔分娩を安全に行うために（第1巻） (2018.1)
- No. 17 更年期のうつと不眠 (2013.2)

研修ノート

No. 109～112の既刊分は、無条件にお送りいたします。

以下のリストにあるノートについては、2種類（各一冊）を無料配布。それ以上（3種類目から）をご希望の方および、CD-ROMをご希望の方は、有料頒布となりますので、別に研修部会までご連絡（TEL 03-3269-4739）ください。

- No. 112：基本から学ぶ不妊治療 (2024.3)
- No. 111：合併症妊娠 (2023.12)
- No. 110：帝王切開Q&A 私はこうしている (2023.3)
- No. 109：異常子宮出血（AUB）-PALM-COEIN分類に基づいた原因検索と対応- (2023.1)
- No. 108：裁判事例から学ぶ (2022.1)
- No. 107：災害時における周産期医療 (2021.12)
- No. 106：思春期のケア (2020.12)
- No. 105：女性のがんサポーターシップケア (2020.11)
- No. 104：外国人患者への対応と留意点 (2020.3)
- No. 103：産科異常出血への対応 (2020.1)
- No. 102：子宮内膜症・子宮腺筋症 (2019.1)
- No. 101：婦人科がん医療の近未来 (2018.8)
- No. 100：産婦人科医療の近未来 (2018.1)
- No. 98：前期破水の管理 (2017.1)
- No. 97：社会的・精神的な援助が必要な妊産婦への対応 (2017.1)
- No. 96：子宮筋腫 (2015.12)
- No. 95：目で見えてわかる膣・外陰・皮膚・乳房疾患のすべて (2015.12)
- No. 94：産婦人科外来での鑑別診断の手順と薬物療法 (2015.2)
- No. 93：産婦人科における画像診断の進歩 (2015.1)
- No. 92：産婦人科における臨床遺伝学-ゲノム医療の展開-：各論 (2014.1)
- No. 90：婦人科外来診療のための細胞診・組織診のすべて (2012.12)

勤務医ニュース（JAOG Information）

- No.85 (2024.3)
- No.84 (2023.11)
- No.83 (2023.3)
- No.82 (2022.12)

JAOG News（日本産婦人科医会報）

- No. 874 (2024.5)
- No. 873 (2024.4)
- No. 872 (2024.3)
- No. 871 (2024.2)
- No. 870 (2024.1)
- No. 869 (2023.12)
- No. 868 (2023.11)
- No. 867 (2023.10)
- No. 866 (2023.8&9)
- No. 865 (2023.7)
- No. 864 (2023.6)
- No. 863 (2023.5)

送付先（楷書にて御記入願います）

〒									
住所									
氏名					様				

所属_各都道府県産婦人科医会

連絡先電話番号

備考